

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	食道裂孔ヘルニア・胃食道逆流症の外科治療の全国実態調査
研究責任者 (所属科名)	向田 秀則 (外科)
本研究の目的・意義	食道裂孔ヘルニアや胃食道逆流症は最も多い食道良性疾患です。食事がつかえる、胸やけがする、夜間に咳き込むなどの症状は、多くの場合には薬物治療で症状が消失したり軽くなりますが、薬物治療が効かない場合もあります。その際には外科治療が行われます。これらの疾患に対する全国規模の調査は少ないため、日本人における外科治療の有効性や安全性の実態が明らかになっておりません。食道裂孔ヘルニアや胃食道逆流症に対する外科治療に関する全国調査を実施して、日本人に適した手術適応や手術方法を検討することを目的とします。
調査方法・調査期間	日本食道学会の食道科認定医所属施設に食道裂孔ヘルニアと胃食道逆流症の手術症例に関して調査用紙を用いて調査を行ないます。集計したデータをもとに、併存疾患、症状、治療歴、手術前の検査、手術適応、手術方法、手術成績などについて解析して、食道裂孔ヘルニアと胃食道逆流症に対する適切な手術適応や手術方法を検討します。
該当資料・データ	この研究は、2001年1月1日から2015年12月31日までに食道裂孔ヘルニアまたは胃食道逆流症で治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。
個人情報の取り扱い	アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。
調査共同研究機関	日本食道学会の食道科認定医所属施設
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩
備考	